

社会的活動報告

トラッシュグリーン

拾ったゴミで生き物の制作と展示

生活科学学科 生活情報デザイン専攻 2回生 岡本 真奈

捨てられたゴミが生き物や環境に悪影響を及ぼしている。トラッシュは英語で「ゴミ」、グリーンは「少しずつ拾い集める」です。捨てられているゴミを集め、生き物に見立てた作品を制作し、森田駅内夢ギャラリー森田に展示しました。

2. 方法

[展示期間] 2022年10月7日(金)～10月31日(月)

[展示場所] 森田駅内夢ギャラリー森田

[家から持ってきたもの]

- ・一升瓶ケース
- ・薄い木の板

3. 結果・考察

ゴミ集めは、鷹巣海水浴場、河和田地区、福井市稲津町、鳥羽地区、越廼海水浴場にきました。鷹巣海水浴場には月一のペースでゴミを少しずつ集めに行きました。綺麗にしたはずなのに一ヶ月後にはまた同じようなゴミが落ちていました。全体的に一番多かったゴミはタバコの吸い殻です。海ではペットボトルキャップが多く捨てられていました。次にゴミが生き物にどのような影響を及ぼしているのかを調べました。生き物は餌とゴミを区別できず食べてしまい、最悪の場合死んでしまう可能性があります。

す。海洋ゴミは2050年には魚より海洋ゴミの量が多くなると言われています。次に作品を作りました。1つ目は《二重鳥格》(図1)です。名前の由来は前と後ろで表情が違って見えることから名付けました。オシドリをイメージしながら作りました。2つ目は《かいゾック》(図2)です。福井県は越前蟹が有名なので蟹をイメージして作りました。名前の由来はピーターパンにでてくるフック船長をモチーフにしています。片方の足はハサミだけど、もう片方はフックになっています。最後は《オールがめ》(図3)です。かめをイメージして作りました。名前の由来はたくさんのペットボトルキャップを使っており、色とりどりの甲羅、世界の文字が書いてあるキャップを使用しているのでオールがめと名付けました。工夫点は頭の部分を全てタバコの吸い殻で埋めたことです。今回の展示を通してゴミは再利用できるものだと知ることができました。研究が進むにつれ、ゴミを「拾う」から「集める」に言葉が変わっていました。それはゴミを集めて生き物を作ったことでゴミを一つの「物」として見るようになったからです。私の町内では半年に一度にゴミ拾いがあります。そのことを見習い半年に一度は他の地区のゴミ拾いをしたいと思います。またゴミ拾いをする事でゴミを捨てる人が減り、森田のゴミも減ると嬉しいです。



(図1)二重鳥格



(図2)かいゾック



(図3)オールがめ